

カリキュラム一覧

理容科		1年		2年		2年間合計			
科目名		単位	時数	単位	時数	単位	時数		
必修科目	関係法規・制度		-	-	1	30	1	30	
	衛生管理		1	30	2	60	3	90	
	保健		1	30	2	60	3	90	
	化粧品化学		1	30	1	30	2	60	
	文化論		1	30	1	30	2	60	
	理容技術理論		2	60	3	90	5	150	
	運営管理		1	30	-	-	1	30	
	理容実習		14	420	16	480	30	900	
	小計		21	630	26	780	47	1410	
選択必修科目	一般教養	総合技術Ⅰ		2	60	-	-	2	60
	専門教育	総合技術Ⅱ		12	360	6	180	18	540
	小計		14	420	6	180	20	600	
総計		35	1050	32	960	67	2010		

美容科		1年		2年		2年間合計			
科目名		単位	時数	単位	時数	単位	時数		
必修科目	関係法規・制度		-	-	1	30	1	30	
	衛生管理		1	30	2	60	3	90	
	保健		1	30	2	60	3	90	
	化粧品化学		1	30	1	30	2	60	
	文化論		1	30	1	30	2	60	
	美容技術理論		2	60	3	90	5	150	
	運営管理		1	30	-	-	1	30	
	美容実習		14	420	16	480	30	900	
	小計		21	630	26	780	47	1410	
選択必修科目	一般教養	総合技術Ⅰ		2	60	-	-	2	60
	専門教育	総合技術Ⅱ		12	360	6	180	18	540
	小計		14	420	6	180	20	600	
総計		35	1050	32	960	67	2010		

2024 年度
シラバス

尼崎理容美容専門学校

必修科目

科目名	関係法規制度		
1 年次時間数	0 時間	2 年次時間数	30 時間

授業目的、概要、到達目標、方針

関係法規制度は、国家試験（筆記）の課目です。

理容師・美容師が社会で働くためには法制度に従って働くことが必要であり、

理容師・美容師という仕事も法制度によって社会に位置づけられています。

理容師・美容師免許のことや、サロンで働く時に守ること、サロンのオーナーになった時にするべきことなど、実際に理容師・美容師として働く上での注意や守らなければならないことなどを学びます。

- 1、衛生行政
- 2、理容師法・美容師法
- 3、関連法規

使用教科書、教材

関係法規・制度 公益社団法人日本理容美容教育センター

美容師法令集 理容師法令集 公益社団法人日本理容美容教育センター

ワークブック 公益社団法人日本理容美容教育センター

評価方法

- ・ 筆記試験（学期末試験、小テストなど）
- ・ 提出物
- ・ 授業態度、姿勢、取り組み方 等

必修科目

科目名	衛生管理		
1 年次時間数	30 時間	2 年次時間数	60 時間

授業目的、概要、到達目標、方針

衛生管理は国家試験（筆記）の課目で、公衆衛生・環境衛生、感染症、衛生管理技術（消毒）の3つの分野に分かれています。

理容所・美容所は、不特定多数の人が利用する施設のため、さまざまな感染症が広がる危険性があります。そうならないようにするためには、感染する可能性のある病気を知り、道具などを衛生的に保たなければいけません。これらのことを勉強するのが、感染症と衛生管理技術です。

サロンワークだけでなく、日常生活とも関係の深い分野なので、しっかりと学んでいきましょう。

使用教科書、教材

衛生管理 公益社団法人日本理容美容教育センター

ワークブック（2年次） 公益社団法人日本理容美容教育センター

評価方法

- ・ 筆記試験（学期末試験、小テストなど）
- ・ 提出物
- ・ 授業態度、姿勢、取り組み方 等

必修科目

科目名	保健		
1 年次時間数	30 時間	2 年次時間数	60 時間

授業目的、概要、到達目標、方針

保健は国家試験（筆記）の課目で、人体の構造と機能、皮膚科学の2つの分野に分かれています。

人体の構造と機能とは、ヒトの体の仕組みと働きのことです。自分のカラダがどのようなようになっていて、それらがどうやって働いているのかを理解することを通して、「健康」について学びます。

皮膚科学は、その名のとおり皮膚について学びます。皮膚は、「体温調節」や「傷の修復」などの重要な働きを行っていて、外界からの有害な物質の侵入や襲撃から体内を守り、全身を保護しています。皮膚と聞くと「単なる一枚の薄い皮」と考えがちですが、その中にある、とても大切な働きについて学んでいきましょう。

理容所・美容所は、不特定多数の人が利用する施設のため、さまざまな感染症が広がる危険性があります。まずは保健で「健康」について学び、さまざまな「病気」や「皮膚疾患（皮膚の異常のこと）」を知り、サロンワークや日常生活にも活かしていきましょう。

使用教科書、教材

理容・美容保健 公益社団法人日本理容美容教育センター
ワークブック（2年次） 公益社団法人日本理容美容教育センター

評価方法

- ・ 筆記試験（学期末試験、小テストなど）
- ・ 提出物
- ・ 授業態度、姿勢、取り組み方 等

必修科目

科目名	香粧品化学		
1 年次時間数	30 時間	2 年次時間数	30 時間

授業目的、概要、到達目標、方針

香粧品化学は国家試験（筆記）の課目です。

サロンワークで使用するパーマ剤やカラー剤などの化学薬品の取り扱い、薬液の調整法など化学の基本操作を学びます。

また、石けんや化粧水、整髪料などに含まれる主な香粧品の種類や使用目的、成分などを学びます。

これらを理解することにより、美容、理容の業務を安全かつ効率的に行うための知識を身につけます。

使用教科書、教材

物理・化学 公益社団法人日本理容美容教育センター
ワークブック（2年次） 公益社団法人日本理容美容教育センター

評価方法

- ・ 筆記試験（学期末試験、小テストなど）
- ・ 提出物
- ・ 授業態度、姿勢、取り組み方 等

必修科目

科目名	文化論		
1 年次時間数	30 時間	2 年次時間数	30 時間

授業目的、概要、到達目標、方針

文化論は国家試験（筆記）課目のひとつです。

理容・美容の業務を行うためには、確かな技術力を身につけることはもちろん、豊かな感性と、優れた表現力を育てることが必要です。

文化論では理容・美容の文化や歴史を学び、時代ごとにファッションや流行が社会に及ぼす影響と、業界がどのように関わっているのかなどを知ることにより、次世代の作品を発信するための基礎知識を身につけます。

また、服飾の原理や衣服の種類を学び、衣服に関するエチケットを身につけます。

使用教科書、教材

美容 理容文化論 公益社団法人日本理容美容教育センター
筆記用具

評価方法

- ・ 筆記試験（学期末試験、小テストなど）
- ・ 提出物
- ・ 授業態度、姿勢、取り組み方 等

必修科目

科目名	運営管理		
1 年次時間数	30 時間	2 年次時間数	0 時間

授業目的、概要、到達目標、方針

運営管理は国家試験（筆記）の課目です。

理容美容を志す上で技術は大切なものですが、単に技術があるだけでは経営は成り立ちません。経営戦略や、マーケティング理論などを勉強し、お客様に選んでもらえる店づくりや、美容を仕事としていく者として、自らに求められているものがどのようなもので、それをどのように社会に貢献していくことができるのかといったことを考える手がかりとなるように、幅広いテーマで、できる限り分かりやすく説明します。

使用教科書、教材

運営管理 公益社団法人日本理容美容教育センター

評価方法

- ・ 筆記試験（学期末試験、小テストなど）
 - ・ 提出物
- 授業態度、姿勢、取り組み方 等

必修科目

科目名	理容技術理論		
1 年次時間数	60 時間	2 年次時間数	90 時間

授業目的、概要、到達目標、方針

理容技術理論は国家試験（筆記）の課目です。

〈1 年次〉

理容技術の知識を身につけ、技術の習得を容易にすることを目的とします。

理論は技能の習得にあたり各技術の基礎を同じように身に付けることができるようになるためであり、技術の習得は理容理論の十分な理解から始まります。理容技術は経験だけによって得られるものではなく、合理的に体系づけられた学習が必要です。

また、理容師としての、接客、言葉使いなどの心得や、理容に用いられる道具や器具機械の種類や目的を理解します。

そして、理容技術を習得するために、又理容技術についてきちんと説明ができるようになるための知識を学びます。

〈2 年次〉

理容技術の知識を身につけ、技術の習得を容易にすることを目的とし、衛生的・能率的に実践する態度と習慣を養います。理容技術は経験だけによって得られるものではなく、合理的に体系づけられた学習が必要です。

1 年で学んだことをより深く理解し、国家試験合格を目指し、理容の知識を学びます。

また国家試験過去問題を使用し、模擬テストも行います。

使用教科書、教材

理容技術理論（1）（2） 公益社団法人日本理容美容教育センター
ワークブック（2 年次） 公益社団法人日本理容美容教育センター

評価方法

- ・ 筆記試験（学期末試験、小テストなど）
- ・ 提出物
- ・ 授業態度、姿勢、取り組み方 等

必修科目

科目名	理容実習		
1 年次時間数	420 時間	2 年次時間	480 時間

授業目的、概要、到達目標、方針

国家試験（実技）の課題を学習する課目です。

〈1 年次〉

理容のさまざまな技術の基本的操作を確実に身につけ、個々のお客様の要望に応じた技術の提供ができるように総合的に学習します。

また理容技術理論で学んだ内容を常に思い出しながら、理論と実習との連携を考え学習します。基本的動作や手の動き、角度などといった具体的なことも身体で覚えるためにも、授業は休まず先生の指導をきちんと聞き、反復練習を行うことが大切です。

そして国家試験合格を目指し、理容の技術、および衛生を学びます。

内容としては、ウィッグや相モデルでシャンプー、カット、シェービング、分髪整髪技術、パーマウェーブ、カラーなど技術の基礎となります。

この授業では実習を通じて、自分で考え、学ぶ姿勢を身につけ、理容の楽しさややりがいを見つけられるようになります。

品質の高いプロの道具を使います。シザーズやコームなど正しく大事に扱うことも理容技術を学ぶ上で大切なことです。

〈2 年次〉

理容のさまざまな技術の基本的操作や作業姿勢を確実に身につけ、国家試験合格を目指し、理容の技術、および衛生を学びます。そして理容技術理論で学んだ内容を常に思い出しながら、理論と実習との連携を考え学習します。

内容としては、カット、シェービング、分髪整髪技術など国家試験課題の技術が中心となります。

理容師国家試験（実技）合格に向けて、特別スケジュールで授業をおこないます。

国家試験前には、実技試験を想定した模擬試験・リハーサルを行い、100%合格できるよう取り組んでいきます。

使用教科書、教材

理容実習（1）（2） 公益社団法人日本理容美容教育センター

理容師実技試験課題「技術の解説」 公益財団法人日本理容師美容師試験研修センター

理容用具

評価方法

- ・ 筆記試験（学期末試験、小テストなど）
- ・ 提出物
- ・ 授業態度、姿勢、取り組み方 等

必修科目

科目名	美容技術理論		
1 年次時間数	60 時間	2 年次時間数	90 時間

授業目的、概要、到達目標、方針

美容技術理論は国家試験（筆記）の課目です。

<1 年次>

美容技術を裏付ける基本的理論をしっかり習得し、時代の流れに関係なく新しいヘアファッションを生みだせる応用力を身につけます。美容師になってからも、新しく生まれるさまざまなスタイルに対応できる技術と、それを裏付ける理論をしっかり理解しましょう。

また、美容に用いる道具や器具機械の種類や目的を理解することも大切です。

<2 年次>

美容技術を修得するために、又美容技術についてきちんと説明ができるようになるための知識を学びます。

美容師国家試験に合格するための対策授業もおこないます。

使用教科書、教材

美容技術理論（1）、（2）公益社団法人日本理容美容教育センター
ワークブック（2年次） 公益社団法人日本理容美容教育センター

評価方法

- ・ 筆記試験（学期末試験、小テストなど）
- ・ 提出物
- ・ 授業態度、姿勢、取り組み方 等

必修科目

科目名	美容実習		
1年次時間数	420時間	2年次時間数	480時間

授業目的、概要、到達目標、方針

国家試験（実技）の課題を学習する科目です。

<1年次>

美容の様々な技術の基本的操作を確実に身につけます。また理論で学んだ内容を実際に行う事により、より理解を深めるでしょう。

品質の高いプロの道具を使用し、アマチュアではなくプロという意識をつけることも大切です。

具体的な内容としては、ウィッグや相モデル（二人組になり、お互いを技術する）で、シャンプー、カットting、パーマネントウェーブ、ヘアセッティング、ヘアカラーなどの技術の基礎を学びます。

なお、実習中におこなわれる、ワインディング、オールウェーブセッティング、カットtingは国家試験（実技）の課題です。

<2年次>

ウィッグや相モデルで、シャンプー、カットting、パーマネントウェーブ、ヘアセッティングなど技術の基礎を学び、卒業後の業界で活かします。

国家試験（実技）合格に向けて、特別スケジュールでおこないます。

国家試験前には実技試験を想定した模擬試験・リハーサルを行い、100%合格できるよう取り組んでいきます。

使用教科書、教材

美容実習（1）、（2） 公益社団法人日本理容美容教育センター

美容師実技試験課題「技術の解説」 公益財団法人日本理容師美容師試験研修センター
美容用具

評価方法

- ・ 筆記試験（学期末試験、小テストなど）
- ・ 提出物
- ・ 授業態度、姿勢、取り組み方 等

一般教養科目

課目名	総合技術Ⅰ		
1年次時間数	60時間	2年次時間数	0時間

授業目的、概要、到達目標、方針

教育方針でもある「選ばれる学校」「理容・美容がもっと好きになる学生」を具現化する授業として、理容・美容に向かう学生たちの心づくりを第一に、「ユニバーサルデザインとは?」「バリアフリーとは?」など福祉全般的な学びのほか、近い将来に実社会へ出て就職をしてからも役立つ教養、ビジネスマナーなどを身につける。

【授業内容】

- 福祉理容美容（福祉編・社会編） 30時間
- ビジネスマナー 30時間

使用教科書、教材

福祉理容美容（福祉編・社会編）
○適宜オリジナルプリントを配布

ビジネスマナー

- 教科書「美容師のための接客・接遇マナー」
- サービス接遇検定3級公式テキスト

評価方法

- ・課題提出、授業出席、態度、姿勢、取り組み方など総合的に評価する

選択必修科目

課目名	総合技術Ⅱ		
1年次時間数	360時間	2年次時間数	180時間

授業目的、概要、到達目標、方針

教育方針でもある「選ばれる学校」「理容・美容がもっと好きになる学生」を具現化する授業として、理容・美容に向かう学生たちの心づくりを第一に、学生が興味を持ち自主的に検定や資格取得を目指せるように授業時間内で指導していく。それ以外についてはプラスアルファとして検定や資格取得のための対策授業を別途希望者に対し実施することで、授業内での学生の意欲差の解消及び検定や資格の合格率上昇を図っていく

理容科においては「理容技術」の基礎から応用までに加え、検定・資格取得を目指して「アロマエステ」を学ぶ。さらに各種コンテストへ出場し上位入賞を目指す「競技技術」の授業を推進する。

美容科においては「美容技術」の基礎から応用のほか、「アップ」と「マツエク」の基礎を学ぶ。加えて検定・資格取得を目標に「メイクアップ」「ネイル技術」「アロマエステ」を選択科目として学習。さらに各種コンテストへ出場し上位入賞を目指す「競技技術A」（ワインディング・カット・アップスタイル・マツエク・ネイルアート・実践）の授業を進める。「競技技術B」はフォトスタジオを活用して授業を展開する。

【授業内容】

●理容科

「理容技術」
「アロマエステ」
「競技技術」

●美容科

「美容技術」（アップ基礎・マツエク基礎・美容技術）
「選択科目」（メイクアップ・ネイル技術・アロマエステ）
「競技技術A」（ワインディング・カット・アップスタイル・マツエク・ネイルアート・実践）
「競技技術B」（フォト・実践）

評価方法

- ・実技試験、課題提出、授業出席、態度、姿勢、取り組み方など総合的に評価する

令和5年度 成績の分布状況

学科名	理容科	学年	2	学生数	7	
成績の分布						
指標の数値	～50点	50～60点	60～70点	70～80点	80～90点	90～100点
人数	2	1	2	1		1
下位1/4に該当する人数		1 人				
下位1/4の平均点		47.4 点				

学科名	理容科	学年	1	学生数	2	
成績の分布						
指標の数値	～50点	50～60点	60～70点	70～80点	80～90点	90～100点
人数						2
下位1/4に該当する人数		0 人				
下位1/4の平均点		点				

学科名	美容科	学年	2	学生数	42	
成績の分布						
指標の数値	～50点	50～60点	60～70点	70～80点	80～90点	90～100点
人数	7	4	9	12	9	1
下位1/4に該当する人数		10 人				
下位1/4の平均点		34.3 点				

学科名	美容科	学年	1	学生数	42	
成績の分布						
指標の数値	～50点	50～60点	60～70点	70～80点	80～90点	90～100点
人数		1	11	12	10	8
下位1/4に該当する人数		10 人				
下位1/4の平均点		65.8 点				

実務経験のある教員等による授業科目			昼間課程 (◎は理容美容とも)						
			関係法規・制度	理容技術理論	美容技術理論	理容実習	美容実習	総合技術ⅠⅡ	
科	教員等氏名	実務経験等							
理容科	谷 仁	理容師・実務経験9年以上						◎	
	荒木 義惣	理容師・実務経験9年以上		理		理		◎	
	塚口 義久	理容師・実務経験9年以上		理		理		◎	
	山本 一徳	理容師・実務経験9年以上		理		理		◎	
美容科	鈴木 良子	美容師・実務経験9年以上			美		美	◎	
	森川 雄一	美容師・実務経験5年以上			美		美	◎	
	岩田 佳章	美容師・実務経験5年以上			美		美	◎	
	和泉 涼子	美容師・実務経験5年以上			美		美	◎	
	中山 美智代	美容師・実務経験9年以上						◎	
理容・美容	有本 久美子	カラーアナリスト実務経験9年以上						◎	
	上部 幹男	保健所勤務37年	◎						
	下地 宏和	理容師・実務経験9年以上						◎	
	三宅 良子	美容師・実務経験9年以上			美		美	◎	
								計	
理容	実務経験のある教職員等による授業科目の単位数		1	5		30		20	56
美容	実務経験のある教職員等による授業科目の単位数		1		5		30	20	56